

## 小鹿野町特別職報酬等審議会 第2回会議録

令和7年8月21日確定

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称     | 小鹿野町特別職報酬等審議会（令和7年度第2回）                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 開催日時      | 令和7年7月23日（水） 10時00分～11時20分                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 開催場所      | 小鹿野町役場・防災対策会議室                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 委員出席者     | 今井 昭文      黒沢 裕幸      近藤 正      齋藤 維<br>阪本 昇寿      田嶋 吉美      松本 亨      （7名）                                                                                                                                                                                                  |
| 委員欠席者     | なし                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 事務局       | 総務課職員<br>課長 島崎 健司      副主幹 栗原 浩司      主任 高根 由裕                                                                                                                                                                                                                                |
| その他出席者    | なし                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 議 事 の 経 過 |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 発 言 者     | 議 事 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 事務局       | <p>開 会</p> <p>公私ともご多忙の中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。本日の出席者が審議会条例第5条第2項に規定する定足数に達しておりますので、本審議会が成立したことをまずご報告させていただきます。</p> <p>それではただいまから第2回特別職報酬等審議会を開催させていただきます。初めに、会長よりごあいさつをいただきたいと思います。</p> <p>（会長あいさつ）</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、会長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p> |
| 会 長       | <p>&lt;以下、要点筆記&gt;</p> <p>第1回会議録をお配りした。記載内容に訂正等あればご指摘願いたい。<br/>（事務局から会議録について説明）</p>                                                                                                                                                                                           |
| 会 長       | <p>前回会議で議員報酬、特別職給料ともに引き上げることで方向性が決まった。本日はその続きとなる「改定後の月額」と「改定の実施時期」について、委員の皆さんからご意見をいただきたい。</p> <p>まず、本日の配付資料について、事務局から説明をお願いしたい。<br/>（事務局から配付資料について説明）</p>                                                                                                                    |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 長 | 事務局からの説明をもとに、具体的な額を決めていただく。これぐらいの額でというような意見を出していただければと思う。                                                                                                                                                                                                            |
| 委 員 | <p>この報酬審議が始まる前に、議会の中で今後の議会をどうしていくかという議論が欲しかった。今回の報酬審議の話が、議員のなり手不足から出て、そのなり手不足を解消するために議員報酬を上げるというものであれば、例えば、働いてる人でも可能な夜間議会とか休日議会を検討したり、若い議員に特別手当を出すとか、新たな議会の形を議会の中でしっかり議論して、その上で報酬を考えて欲しいという形がベストだったと思う。</p> <p>今回、報酬を引上げるということなので、全国町村議会の平均値ぐらいまで引上げることが妥当ではないか。</p> |
| 委 員 | <p>配付資料は、各役職とも同額アップということだが、議員と委員長、副議長、議長の仕事の内容から同額アップでいいのかどうか、委員の皆さんに伺いたい。</p> <p>例えば、議長だけアップ率を上げるというのは趣旨が違うと思う。議員のなり手を増やすという趣旨もあるので、同額でもいいかとは思ふ。</p>                                                                                                                |
| 事務局 | 議長、副議長は、議会を代表して様々な会議や催し物に出席している。基本的に議員の報酬をベースとして、比率的に委員長、副議長、議長で差を設けていると思う。                                                                                                                                                                                          |
| 委 員 | 同額で良いと思う。                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 委 員 | 報酬を引上げることについて、定数のことを考えていただきたいという付帯決議がつけられるのかどうか。あと、定数は偶数にこだわる必要があるのか。1人削減して奇数ということは。                                                                                                                                                                                 |
| 事務局 | <p>報酬を引上げることによって、負担が増えるので定数の見直しをして欲しいという付帯決議を答申の中に記載することは可能である。削減をするか、しないかは議会の考えになるかと思う。</p> <p>定数は奇数の団体もあるので、1人削減も可能である。</p>                                                                                                                                        |
| 委 員 | 平成17年に議員発議によって減額した経緯がある。平成29年には議員定数も削減している。それを考えると、まずは平成17年12月に減額した分を一旦戻す。そのうえで議会の中で今後の議会をどうするかという議論をお願いする、という付記を付ける。議会での議論が終わった段階で、もう一度報酬を見直しても良いのではないかと。まずは一旦下げた部分を元に戻すことが最優先ではないか。                                                                                |

|     |                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委 員 | <p>まずは平成１７年の減額前の報酬に戻す。他町村の人口に対する議員１人当たりの人口が、現在８２９人となっている。人口が１万人を切った状況の中で、議員定数を１人ないし２人減らすと、１人当たり１，０００人ぐらいになる。議員定数の削減を念頭に議会で議論してもらい、今回は減額前の額でどうかと考えている。</p>                                                                               |
| 会 長 | <p>皆さんから意見を出してもらっているが、事務局からの案は？</p> <p>（事務局（案）配付・説明）</p> <p>案① 県内２３団体の役職別報酬月額の平均値に設定</p> <p>案② 県内２３団体の議員報酬月額を基準に現行差額分を設定</p> <p>案③ 財政力指数０．５００以下の団体の平均値に設定</p> <p>案④ 平成１７年１０月の町村合併当時の月額に設定</p>                                           |
| 会 長 | <p>事務局から４つの案が出された。案④は委員から意見もあったが、平成１７年の合併当時に戻すものである。案③は同程度の財政力である団体の平均値としたもので、③と④は同じような額である。</p>                                                                                                                                        |
| 委 員 | <p>町の財政力は平均よりも低いので、そこも見据えていかなければならない。町村合併時の報酬に戻す意見が出た。案③はそれに近いところもある。案③と④を掛け合わせるような形でも良いのではないか。議長、副議長は案④に、委員長、議員は案③にすれば、同程度の財政力の団体と同じ水準になり、合併時の額も満たしている。</p>                                                                            |
| 委 員 | <p>５万円ぐらい上げないと若い人は無理ではないかと。３０代４０代、遅くても５０代で議員に出て長く経験を積んで町長選挙に出るぐらいの人が複数いないと町の活性化はできないと思っている。今までの議論を踏まえると、案②が妥協線かと思う。案③と④は２０年前と同じ額で魅力がない。財政面については、議会で定数削減も含めて検討してもらおう。今回の審議内容は議員報酬なので、議員に立候補するための障害を除くためには、最低案②ぐらいでないと厳しい。</p>            |
| 委 員 | <p>議会をどうしていくのかという議論の後に報酬のことを考える案はすごく良いと思う。小鹿野町は他の自治体と比べて大変だと思う。この報酬ではちょっと少なく、魅力に欠ける。ただ、報酬を上げて議員のなり手が増えるわけではない。大幅に上げないと手は増えない。</p> <p>最初は２０％ぐらいが妥当かと思ったが、そこまで上げたら今度は議論が進まなくなる。議会でしっかり議論してもらいたいので、今回は引下げ前の額（案④）に戻して、議論した結果で報酬を再度考えたい。</p> |
| 委 員 | <p>引下げ前の額に戻す案④で考えている。この案をベースに定数削減を含めて、今後の議会についてしっかり議論すべきという言葉はつけて欲しい。</p>                                                                                                                                                               |

|     |                                                                                                                                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 長 | <p>皆さんからご意見をいただき、案②という意見もあったが、一旦引下げ前の額（案④）に戻して、議会で今後のことを考えるような方向性で良いと思う方は挙手をお願いしたい。</p> <p>（全員挙手）</p> <p>それでは、案④ということをお願いしたい。</p> <p>次に特別職給料の引上げ額についてご意見を伺いたい。</p> |
| 委 員 | <p>議員の引上げ額をベースに考えたら良いのではないか。</p>                                                                                                                                   |
| 委 員 | <p>議員報酬を合併時の額に戻すことを考えれば、特別職は額に変更がないので据え置きでも良いかと。</p>                                                                                                               |
| 委 員 | <p>同意見である。下げていないので、上げない。</p>                                                                                                                                       |
| 委 員 | <p>合併時に戻したところをスタートとして、今後、議論するのであれば、今はこのままで良いと思う。１年後２年後に審議会を開いたときに考えたい。</p>                                                                                         |
| 委 員 | <p>本当は数パーセントでも上げて良いかと思ったが、現状のままで。</p>                                                                                                                              |
| 委 員 | <p>議員の引上げが合併時の額に戻したもののなので、特別職はこのままで良いかと。</p>                                                                                                                       |
| 会 長 | <p>皆さんからご意見をいただき、特別職は現状のままという意見が多かった。そのように決定することで良い方は挙手をお願いしたい。</p> <p>（全員挙手）</p> <p>特別職給料については、据え置きということをお願いしたい。</p> <p>最後に改定時期について意見を伺いたい。選挙後の任期はいつからか。</p>      |
| 事務局 | <p>令和７年１０月３０日からである。</p>                                                                                                                                            |
| 会 長 | <p>任期が始まる令和７年１０月３０日とするか、新年度の令和８年４月１日とするか、どちらかしかないと思う。皆さんのご意見を伺いたい。</p>                                                                                             |
| 委 員 | <p>審議会からの提案としては、なるべく早い方が良い。</p>                                                                                                                                    |
| 会 長 | <p>選挙後、新しい任期が始まる時からが一番妥当だと思うので、改定時期は令和７年１０月３０日ということによろしいか。</p> <p>（全員賛成）</p>                                                                                       |

|     |                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 長 | <p>改定時期は、令和7年10月30日からでよろしくをお願いしたい。</p> <p>諮問事項について、全ての審議を終了とするが、最後に答申内容について、事務局から説明をお願いする。</p> <p>（答申書（案）配付・事務局説明）</p> <p>※第2回審議會の内容を反映させる。</p>                                                                                              |
| 事務局 | <p>審議内容について、最終的な方向づけのところを載せるようにしたいと思う。</p> <p>本日のご意見を反映して最終的な答申案を作りたい。答申案が出来たら各委員にお配りする。期限を定めてご確認いただき答申書を確定したい。その後、会長から町長に答申していただく。</p>                                                                                                      |
| 会 長 | <p>委員の皆さんから活発な意見を出していただき、慎重に審議できたことに感謝申し上げます。これからの進行は事務局へお願いしたい。ありがとうございました。</p>                                                                                                                                                             |
| 事務局 | <p>大変ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様には、2回の審議會開催にあたり、慎重に審議していただきましてありがとうございました。</p> <p>この審議會については、会議形式での開催は以上といたしまして、今後は書面を確認していただくことで考えています。</p> <p>最後に事務連絡をさせていただきます。</p> <p>事務連絡</p> <p>（答申までの流れについて）</p> <p>（会議録の確認について）</p> <p>（委員の任期について）</p> |
| 事務局 | <p>委員の皆様には2回にわたりまして審議會にご出席をいただきまして、大変ありがとうございました。</p> <p>以上で小鹿野町特別職報酬等審議會を終了といたします。</p> <p>大変ありがとうございました。</p>                                                                                                                                |
|     | <p>閉 会</p>                                                                                                                                                                                                                                   |